

ジョイフル城北 スマイル城北



令和6年度 学校だより
ジョイスマ
令和6年11月28日
熊本市立城北小学校
校長

ボランティア活動が盛んな、城北校区！

今年の夏は猛暑が続きとても暑い日が続きました。その影響でしょうか、10月になっても11月になっても夏のような日が多かったです。しかし、さすがに11月も終わりに近づき、12月を目の前にすると気温も下がり、冬を感じるようになりました。そんな11月24日(日)、城北小学校を会場にして地震のための避難所開設訓練(写真右)が行われました。城北小学校区には、「城北小避難所運営委員会」という組織があります。メンバーは各自治会長や民生児童委員など、地域の方で編成され、震度6以上の地震が発生した場合に避難所が



開設されるようになっていきます。今回の避難所開設訓練は、実際に地震が起きたことを想定して、運営委員の自宅からの集合で開始となりました。学校の校舎の安全確認を行ってから、受付やマンホールトイレ、避難所、駐車場の設置など、多岐にわたり実施されました。さらに、約50人の避難の方々の参加もあり、本番さながらの訓練でした。これは地域の方々のボランティア活動に対する関心の高さだと感じました。今年は正月に能登半島地震がありました。南海トラフ地震も危惧されています。また熊本地震が起きたらと、改めて考えさせられました。



また、校区のボランティア活動の意識の高さと同じように、子どもたちもボランティア活動に積極的に取り組んでいます。朝のあいさつ運動に1年生やほかの学年が取り組んでくれています。このほか、朝から落ち葉を集め、運動場をきれいにしてくれる子どもたちもいます。左の写真は昼休みの光景です。運動場で遊んでいる子どもたちがたくさんいる中で、イチョウの落ち葉をせっせと集め、袋に入れている子どもたちの様子です。このように、みんなのために自ら汗を流す子どもたちが城北小学校には、

たくさんいます。将来こんな子どもたちが地域の避難所運営をはじめ、地域で、熊本県で、日本で、さらには海外で、様々なところで活躍し、たくさんの人たちを支えるのだと思います。こんな素晴らしい子どもたちがいる城北小を誇りに思います。